

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部		
	課名	商工観光課		
	係名	商工振興係		
	記入者		電話(内線)	217

1. 事業の概要		(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	本場結城紬振興事業	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ		① 事業の区分		⑥ 事業主体		市	
② 施策コード		35201		(総合計画掲載 ^ハ -ゾ ^ニ 108 ^ハ -ゾ ^ニ)		(7) 予算・ 財源等 の種別	
基本目標(政策)		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)		事業の性質		一般事業費(ソフト事業)	
基本施策		3-5つちかわれた技術を継承する伝統産業の振興(伝統産業)		会計区分		一般会計	
施策		②伝統産業の振興		財源区分		市単独	
施策内容		1伝統産業の振興		予算科目		款 7 項 1 目 3	
(5) 事業期間		開始		年		月から	
		終了		年		月まで(<input type="text"/> 力年)	
				(8) 事務分類			
				根拠法令			

2. 事業の目的及び内容		(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
		一般市民・観光客	本市の地域資源である「結城紬」を活用することで、きもの文化及び結城紬の普及促進を図り、観光施策と結び付けることで、結城紬産地の復興を図る。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)		(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)	
①結城紬機織り実演事業 駅前観光物産センターにおいて、結城紬の地場織り実演を茨城県本場結城紬織物協同組合に委託し実施する。		生活様式の変化から、結城紬の生産数は減少を続けているなか、平成27年度より結城紬きもの貸出事業を本格的に開始。小山市でも、平成28年度より、駅前クラフト館にて同様の結城紬着心地体験を実施している。	
②結城紬きもの貸出事業 市民や観光客を対象に、市の所有する結城紬きもの貸出業務を結城着楽会に事業を委託し実施する。			
③イベントや結城紬きもの貸出事業に使用する、結城紬きもの仕立て・整理等を行う。			
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応			
平成21年度に駅前通りの空店舗において「結城紬機織り実演」を開始。平成26年より場所を物産センターに移し、事業を継続している。「きものday結城」には市外から多くの参加者があり好評を得ていたが、より多くの機会に結城紬を体験したいとの声があり、体制の整備を進めていた。平成27年度より本格的に事業を実施するにあたり、着付けボランティア団体「ゆうき着楽会」を立ち上げ、事業を開始し、11月には駅前の結城情報センターテナントに結城紬着付け処『着楽』をオープンした。多くの利用者があり、注目度も上がってきている。			

3. 事業コスト		行政評価 実績内容の評価 検討・改善 検討・改善内容を反映				
実施計画		検討・改善				
● 予算内訳		実績額(千円)		当初予算額(千円)		
事業内容		27 年度		28 年度		
		29 年度		30 年度		
		31 年度		計画額・見込額(千円)		
(1) 事務事業費の コスト	事業費	報償費	0	125		
		需用費	194	157		
		役務費	50	752		
		委託料	3,079	3,290		
		使用料及び賃借料	125	0		
		工事請負費	710	0		
		備品購入費	348	206		
		合計	4,506	4,530		
	財源	国庫支出金(千円)				
		県支出金(千円)				
地方債(千円)						
その他特定財源(千円)						
一般財源(千円)		4,506	4,530			
	合計(千円)	4,506	4,530			
補助・起債制度名						

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）

指標の名称		単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）							
指標名	結城紬機織り実演	目標値		1	1	1	1
		実績(見込)値	箇所	1	1		
指標名	結城紬きもの貸出件数	目標値		50	60	60	60
		実績(見込)値	件	41	50		
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）							
指標名	本場結城紬検査反数	目標値		1,379	1,400	1,400	1,400
		実績(見込)値	反	1,218	1,379	1,400	1,400
		達成率		87.0 %	98.5 %		
指標名		目標値					
		実績(見込)値					
		達成率		%	%		

5. 事業評価

(1) 平成27年度の行政評価結果をうけて、平成27年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。

結城駅までの観光物産センターにて結城紬の機織り実演事業を継続実施した。
結城紬きもの貸出事業を実施するにあたり、着付けボランティア団体「ゆうき着楽会」を立ち上げ、事業を委託した。事業のPRや利用者の普及を図るため、駅前に結城紬着付け処『着楽』をオープンし、事業の拡大を図った。

(2) 項目別評価

評価項目・客観的評価				理由
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	地域資源を活用した事業であり、結城市にしかできない事業である。
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	結城紬はユネスコ無形文化遺産に登録され、それを活用した事業を実施するのは妥当である。
	手段の妥当性	A	妥当である	機織り実演、きもの貸出事業については、それぞれ専門家団体に委託しており、それ以外に出来る団体はない。
効率性	コスト効率 人員効率	B	どちらとも言えない	きもの貸出事業については、利用者から料金を徴収することにより、委託料の減額を図っている。
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	広く一般市民・観光客に対して事業を行っている。
有効性	成果の向上	A	上がっている	機織り実演については、直接的に観光客を増やせるものではないが、きもの貸出事業については利用者数が増加している。
進捗度	事業の進捗	A	順調である	貸出事業については、ゆうき着楽会と連携しながら、事業のブラッシュアップを行っている。

(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。

機織り実演については、物産センター内での実演であり、中に入ってはじめて気づく人がほとんど。直接的な誘客等の効果は期待できないが、中に入った観光客は興味深く見たり話したりしており、結城紬のPRに貢献している。
結城紬きもの貸出事業は順調に推移しているが、公務分(無料)と一般分(有料)の度合いにより、着楽会の運営に影響が出る。

(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？

機織り実演については、施設内での配置の再検討や、外部へのPRを行う。
きもの貸出事業については、貸出業務が増加傾向にあり、委託先のゆうき着楽会と連携し体制を整備しつつ、PRを行いながら、事業の拡大に努める。

6. 事業の方向性判断

評価主体	28年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注) 記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続 (成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	本場結城紬の情報発信とPRのため、機織りの実演、きもの貸出事業を展開しており、引続き受け入れ体制及びPRを強化し、事業を展開していく。
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う		上記評価のとおり。